

⑦前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください	<ul style="list-style-type: none"> ・市による保有を基本とする。(事業用定期借地) ・駐車場を確保したい。 ・民間による利用を軸とした利活用を考えたい。 ・暫定的・段階的な利活用も含め導入する機能を検討したい。
⑧事業スケジュール(予定)	令和5年10月 土地利用方針の決定 令和5年10月～ 土地利用事業者募集要項の作成 令和6年2月 民間事業者募集開始 令和6年6月 民間事業者決定
(2) 対象地	
①所在地(交通情報含む)	栃木県栃木市室町字室町 222 番 1 (栃木駅から北に約 600m、徒歩 7 分)
②敷地面積	5,144.15 m ² (1,566.1 坪)
③土地利用上の制約	宅地、商業地域、準防火地域、建蔽率：80%、容積率：400%
④所有者	栃木市
⑤周辺施設等	1km 圏内に、市役所、美術館、図書館、文化会館、市民交流センター等の公共施設が立地。また、とちぎ山車会館、塚田歴史伝説館、蔵の街遊覧船、まちの駅「コエド市場」等の観光スポットが点在している。
⑥対象地周辺の環境	当該土地の周辺は、江戸時代から日光例幣使街道の宿場町、そして江戸との舟運で商人町として栄えた。当該土地の北側が蔵の街地区、さらにその北側が嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区となっており、今も蔵の街なみが残っている。
⑦その他 (上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの交通利便性の向上並びにまちなかの周遊性向上を図るため、令和5年7月から、栃木駅と新栃木駅間のエリアにおいて、シェアサイクルを導入する。 ・蔵の街地区における観光客入込数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響前の令和元年度は約 27 万人だった。令和2年度には約 15 万 5,000 人まで落ち込んだが、令和3年度には約 20 万人まで回復している。 ・2021 年度の栃木駅の乗降人員は、JR 栃木駅が1日平均 4,000 人程度、東武鉄道栃木駅が1日平均 9,000 人程度。

■ 添付資料

- 位置図、地積測量図、現況写真
- 旧栃木警察署跡地における拠点設置実験の実施結果
- 第2次栃木市総合計画 <https://www.city.tochigi.lg.jp/soshiki/2/59473.html>